

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	夏休みファーマカレッジ 2021				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一

講演題目	夏休みファーマカレッジ 2021
------	------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

夏休みファーマカレッジは、高校生が、大学教員から直接指導を受けながら科学実験を行うことで、科学的なものの見方を養い、科学に接する喜びを体験することにより、科学に対する興味や理解を深め、将来の夢や希望を育てることを目的とするものである。また、静岡県内の高校生を対象とすることで、県民に開かれた大学のイメージが広がるとともに、本学への入学希望者が増えると期待される。さらに、実験指導の補助を通して、大学院生や学部学生の教育・社会活動への参加なども達成される。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止されたため、2年ぶりの開催となる。

令和3年度は、薬学部の10研究室(生化学分野、衛生分子毒性学分野、薬理学分野、医薬品製造化学分野、創剤科学分野、分子病態学分野、生体情報分子解析学分野、医薬品情報解析学分野、実践薬学分野、生命物理化学分野)により企画・運営された。実施されたテーマは下表の通りである。例年、各テーマについて8名の高校生を受け入れているが、感染症対策のために、今年度は各テーマ4名として募集し、40名が参加して2021年8月5日(木)、6日(金)の2日間で実施した。なお、高校生にはフェイスシールドを配布し、感染症対策を徹底した。

初日は、まず全体でオリエンテーションを行ったのち、各グループに分かれ、研究課題や実験方法の説明を受けた後、課題研究に取り組んだ。指導は薬学部の教員や各研究室に所属する学部生、大学院生が担当した。2日目の午前中は引き続き課題を実施し、得られた実験結果に基づいてプレゼンテーション用の資料を準備した。そして、午後には各班がパワーポイントスライドを利用した8分間のプレゼンテーションを行い、その後2分間の質疑応答を行った。高校生や教員、学生から様々な質問が出て、活発な発表会となった。

参加した高校生に対してアンケート調査を実施したが、高校では体験することができない実験ができたこともあり、非常に好評であった。参加者が本学薬学部に入學することも多く、学部紹介の観点からも有意義な行事であることから、次年度以降も本事業を継続する予定である。

夏休みファーマカレッジ 2021 実施テーマ

1	お茶のはたらきを科学的にみてみよう！	6	薬と食品の飲み合わせを調べてみよう！
2	くすりの効き方を調べてみよう！	7	解熱鎮痛薬を作ってみよう！
3	医薬品錠剤を造ってみよう！	8	病気の成り立ちを顕微鏡で観察してみよう！
4	iPS細胞で心臓の働きを調べてみよう！	9	遺伝子を見てみよう！
5	良薬は口に優し!!菓子様製剤をつくってみよう！	10	鍵穴に合う薬を設計しよう！